

2018年1月11日  
日興アセットマネジメント株式会社

## 「高金利先進国債券ファンド2(早期償還条項付)／愛称:オリーブ2」 分配金のお知らせ

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、ご愛顧いただいております「高金利先進国債券ファンド2(早期償還条項付)／愛称:オリーブ2」は、2018年1月10日に決算を行ないました。

本資料では、当期の分配金についてご報告するとともに、マザーファンドの運用会社である日興アセットマネジメントヨーロッパ リミテッドのコメントをご紹介します。

### 当期の分配金と設定来の基準価額推移



#### <当期の分配金>

分配金 (税引前、1万口当たり)	0円
基準価額 (1万口当たり) 2018年1月10日現在	9,659円

#### <基準価額の推移>



※ 基準価額は信託報酬(年率1.3392%(税抜1.24%))控除後の1万口当たりの値です。

今後の分配金額につきましても、引き続き、収益分配方針に基づいて決定してまいります。  
今後も、当ファンドをご愛顧くださいますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

- 上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。
- 分配金額は収益分配方針に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配金額を変更する場合や分配を行なわない場合もあります。

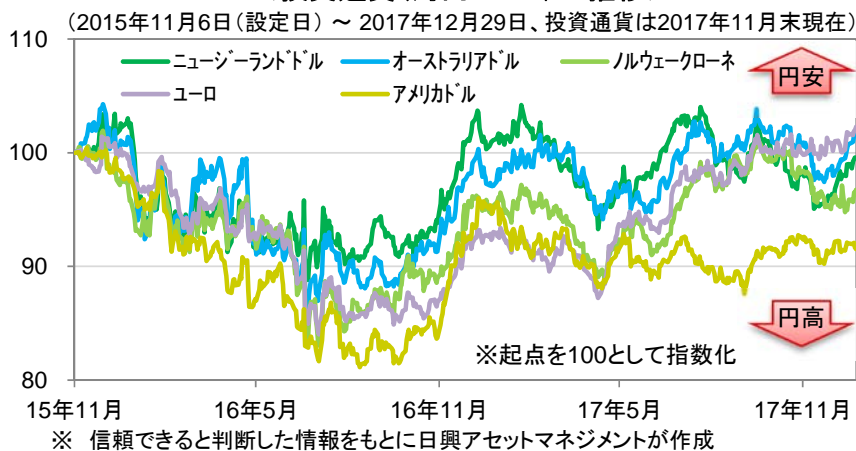
■ 当資料は、日興アセットマネジメントが「高金利先進国債券ファンド2(早期償還条項付)／愛称:オリーブ2」の運用状況についてお伝えすることなどを目的とし、受益者の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくために作成した資料です。  
■ 掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。  
■ 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。

## 運用概況と投資国の見通しについて

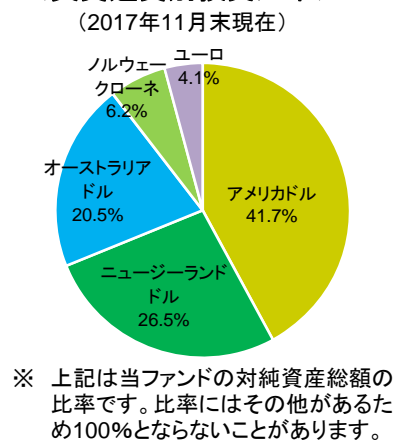


- 今期(2017年7月11日～2018年1月10日)においては、2017年8月に、カナダドルの軟調な展開が予想された一方、欧州の政治リスクの後退や力強い経済成長、またECB(欧州中央銀行)による利上げ期待など、多くの要素が通貨ユーロのサポート要因になるとみられたことから、カナダドル建て債券を全て売却し、新たにユーロ建て債券を組入れました。
- 昨年12月には、FRB(米連邦準備制度理事会)が追加利上げを行ないました。ただし債券の投資環境に最も大きな影響を与えたのは米国の政治動向であり、税制改革への期待の後退から金利が大きく低下する場面もみられました。しかし、12月に税制改革法案が上下両院を通過したことから、今後は経済へのポジティブな影響や、海外に滞留する資金の還流などが期待されます。加えて政策金利の緩やかな上昇も通貨の後押しとなり、アメリカドルは昨年の下落からの回復が期待されます。
- ニュージーランドでは、住宅価格の上昇には引き続き注視が必要なものの、移民の流入増加を受けた堅調な経済成長や、高利回りの先進国通貨という投資魅力などを背景に、ニュージーランドドルの底堅い推移が期待されます。
- オーストラリアでは、鉱業セクターからサービスセクターへの産業の多様化が進められており、底堅い経済成長が続いています。弱い賃金上昇率や不動産価格の高騰といった懸念材料はありますが、中央銀行は当面現在の政策金利を維持するものとみられます。
- 昨年11月に開催されたOPEC(石油輸出国機構)総会で原油の協調減産が延長されたことは、今後の原油価格の上昇圧力になると期待されます。また、地政学リスクの高まりも原油価格を押し上げる可能性があり、そうした場合、ノルウェークローネの上昇圧力になると見込まれます。
- ユーロ圏の安定した経済成長と低いインフレ率は2018年も続くと考えられ、金融政策の正常化は緩やかなペースになるとみえています。また、一部の国の比較的高い利回り水準や、ECBによる国債買入れの継続により、ユーロ圏の債券は引き続き魅力的な投資対象になると考えています。

### <投資通貨(対円レート)の推移>



### <実質通貨別投資比率>



※上記は過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

上記は、当ファンドの主要投資対象である「高金利先進国債券マザーファンド」の運用会社である日興アセットマネジメントヨーロッパリミテッドからのコメントをもとに作成しています。当コメントは、資料作成時点における市場環境について、運用担当者の方針あるいは考え方等を記載したものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。また、見解は変更される場合があります。

- 当資料は、日興アセットマネジメントが「高金利先進国債券ファンド2(早期償還条項付)／愛称:オリーブ2」の運用状況についてお伝えすることなどを目的とし、受益者の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくために作成した資料です。
- 掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。
- 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。